

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校岡山情報ビジネス学院
設置者名	学校法人三友学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
工業専門課程	情報スペシャリスト学科	夜・通信	126 単位 (2351 時間)	10 単位 (240 時間)	
	情報システム学科	夜・通信	84 単位 (1667 時間)	7 単位 (160 時間)	
	デジタルビジネス学科	夜・通信	28 単位 (655 時間)	7 単位 (160 時間)	
	ゲーム・VRクリエイター学科ゲームクリエイターコース	夜・通信	74 単位 (1515 時間)	10 単位 (240 時間)	
	ゲーム・VRクリエイター学科VRクリエイターコース	夜・通信	43 単位 (1255 時間)	7 単位 (160 時間)	
	ネット・動画クリエイター学科	夜・通信	77 単位 (1514 時間)	7 単位 (160 時間)	
	CGデザイン学科3DCGデザインコース	夜・通信	93 単位 (2537 時間)	10 単位 (240 時間)	
	CGデザイン学科イラスト・デザインコース	夜・通信	62 単位 (1455 時間)	7 単位 (160 時間)	
商業実務専門課程	経営アシスト学科	夜・通信	28 単位 (634 時間)	7 単位 (160 時)	
	ホテル・ブライダル・観光学科	夜・通信	43 単位 (1025 時間)	7 単位 (160 時間)	
	公務員総合学科	夜・通信	0 単位 (0 時間)	7 単位 (160 時間)	※
	医療福祉事務学科	夜・通信	35 単位 (1178 時間)	7 単位 (160 時間)	

				時間)	
	医療情報マネジメント学科	夜・通信	70 単位 (1585 時間)	10 単位 (240 時間)	
教育・社会福祉専門課程	保育学科	夜・通信	37 単位 (1290 時間)	10 単位 (240 時間)	
(備考) ・令和 7 年度までは時間制のため、() 内に授業時間数を記入 ・保育学科 (3 年課程) と公務員速修学科は令和 8 年度生より募集停止					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

Web 上で公開 https://oic-ok.ac.jp/wp-content/themes/oic-theme/pdf/jitsumu.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 公務員総合学科
(困難である理由) 公務員総合学科は、公務員試験の合格を目標とするカリキュラム構成となっている。そのため授業科目を教えていくに当たって、多くは公務員の実務経験を必要とするものとは性質上異なる。高校等の現場での授業経験のある者や他校での授業経験のある者等による授業を行うことが目標を実現するに当たって効果的であると考え。よって実務経験を有する教員による授業科目を配置することは困難である。

様式第2号の2-①【(2)-①学識者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校岡山情報ビジネス学院
設置者名	学校法人三友学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

Web 上にて公開

<https://oic-ok.ac.jp/wp-content/themes/oic-theme/pdf/riji.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職または現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	司法書士	令和8年6月23 日から令和11 年度定例評議員 会終了時まで	寄付行為の改定、 理事の任命、動産・ 不動産の登記等に 係る法規手続関連
非常勤	弁護士	令和8年6月23 日から令和11 年度定例評議員 会終了時まで	対企業、対学生、対 保護者、対教職員 とのコンプライア ンス関連
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校岡山情報ビジネス学院
設置者名	学校法人三友学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 本校の「授業計画書(シラバス)と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年 1 月から 2 月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時に HP で公開している。	
授業計画書の公表方法	https://oic-ok.ac.jp/syllabus
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 本校の「授業計画書(シラバス)と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。前期・後期に実施する2回の期末試験、単位ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本校の「授業計画書(シラバス)と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。前期・後期に実施する2回の期末試験、単位ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。S・A・B・C・Dの成績評価とともにGPAを算出し、各学科の下位1/4が明確になるように設定している。 GPA算出計算式 $\frac{4.0 \times S \text{の単位数} + 3.0 \times A \text{の単位数} + 2.0 \times B \text{の単位数} + 1.0 \times C \text{の単位数} + 0 \times D \text{の単位数}}{\text{総履修科目単位数(「不可」の単位数を含む)}}$	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	Web上にて公開 https://oic-ok.ac.jp/wp-content/themes/oic-theme/pdf/guide.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間(授業単位)を策定し公表。本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書(シラバス)と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	Web 上にて公開 ・ 授業計画書と成績評価基準のガイドラインについて https://oic-ok.ac.jp/wp-content/themes/oic-theme/pdf/guide.pdf ・ 3つのポリシー https://oic-ok.ac.jp/about/education

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校岡山情報ビジネス学院
設置者名	学校法人三友学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	Web 上にて公開 https://oic-ok.ac.jp/wp-content/themes/oic-theme/pdf/zaimu.pdf
収支計算書又は損益計算書	Web 上にて公開 https://oic-ok.ac.jp/wp-content/themes/oic-theme/pdf/zaimu.pdf
財産目録	Web 上にて公開 https://oic-ok.ac.jp/wp-content/themes/oic-theme/pdf/zaimu.pdf
事業報告書	Web 上にて公開 https://oic-ok.ac.jp/wp-content/themes/oic-theme/pdf/zaimu.pdf
監事による監査報告（書）	Web 上にて公開 https://oic-ok.ac.jp/wp-content/themes/oic-theme/pdf/zaimu.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報スペシャリスト 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	102 単位 (2, 550 時間)	41 単位 (1, 052 時間)	95 単位 (1, 858 時間)	3 単位 (70 時 間)	0 単位	0 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		104 人	0 人	3 人	9 人	12 人	
(備考) (任意記載事項)							
・令和7年度までは時間制のため、() 内に授業時間数を記入							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時に HP で公開している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、単位ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S90 点以上、A80 点以上、B70 点以上、C60 点以上、D59 点以下とし、C 以上が合格とする。また、出欠席については、科目毎に 80% 以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27 人 (100%)	1 人 (3.7%)	26 人 (96.3%)	0 人 (%)
（主な就職、業界等） 【業界】 IT エンジニア、IT 事務・カスタマエンジニア 【就職先】 JTP 株式会社、TDC ソフト株式会社、アララ株式会社、タカヤ株式会社、株式会社 EDION クロスベンチャーズ、株式会社 EvangTech、株式会社アクトシステムズ、株式会社アネステック、株式会社エスビーエス、株式会社エヌエスシーエス、株式会社クロステレビ、株式会社サンウェル、株式会社システムエンタープライズ、株式会社ダイレクトウェイヴ、株式会社マーブル、株式会社リブゲート、株式会社ワードシステム、株式会社西日本システムサービス、株式会社湯山製作所、株式会社両備システムズ、山崎製パン株式会社、矢崎総業株式会社			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験 合格者 19 名 応用情報技術者試験 合格者 6 名 情報処理安全確保支援士試験 合格者 2 名 データベーススペシャリスト試験 合格者 1 名 AI 検定 合格者 26 名 情報セキュリティマネジメント検定試験 合格者 2 名 （令和 7 年度卒業生に関する情報）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
103 人	4 人	3.9%
（中途退学の主な理由） 精神不調、学力不振、経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報システム学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	65 単位 (1,702 時間)	28 単位 (706 時間)	61 単位 (1,573 時間)	2 単位 (70 時間)	0 単位	0 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		87 人	0 人	2 人	8 人	10 人	
(備考) (任意記載事項)							
・令和7年度までは時間制のため、() 内に授業時間数を記入							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時に HP で公開している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、単元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S90 点以上、A80 点以上、B70 点以上、C60 点以上、D59 点以下とし、C 以上が合格とする。また、出欠席については、科目毎に 80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
45 人 (100%)	0 人 () (%)	40 人 (88.9%)	5 人 (11.1%)
（主な就職、業界等） 【業界】 IT エンジニア、システムインストラクター、カスタマエンジニア 【就職先】 grox 株式会社、アクシス I T パートナーズ株式会社、エムテック株式会社、オムロンフィールドエンジニアリング株式会社、株式会社 NTT フィールドテクノ、株式会社 RELATION、株式会社アスパーク、株式会社泰平商会、株式会社トスコ、株式会社ベルティス、就労継続支援 A 型事業所ハローワールド、ネッツトヨタ山陽株式会社、株式会社 FunClock、株式会社 Comster、株式会社アルトナー、株式会社ゴフエルテック、株式会社システムエンタープライズ、株式会社シンカテクノロジー、株式会社ソフィア、株式会社ソリューションジャパン、株式会社テクノプロ テクノプロ・I T 社、株式会社テクノプロ テクノプロ・エンジニアリング社、株式会社プライム、株式会社ユーコム、株式会社ランネット、株式会社リブゲート、株式会社成通・ソフトシステムズ、株式会社両備システムズ、常石造船株式会社、東芝テックソリューションサービス株式会社			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験 合格者 12 名 情報処理技術者能力認定試験 1 級 合格者 1 名 情報処理技術者能力認定試験 2 級 合格者 21 名 情報処理技術者能力認定試験 3 級 合格者 45 名 Java プログラミング能力認定試験 2 級 合格者 14 名 Java プログラミング能力認定試験 3 級 合格者 25 名 （令和 7 年度卒業生に関する情報）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
92 人	4 人	4.3%
（中途退学の主な理由） 精神不調、学力不振、経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ゲーム・VR クリエイター学科ゲームクリエイターコース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数		開設している授業の種類				
	講義			演習	実習	実験	実技	
3 年	昼間	107 単位 (2, 510 時間)		38 単位 (835 時間)	88 単位 (1, 870 時間)	2 単位 (80 時間)	0 単位	0 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80 人		94 人	1 人	3 人	6 人	9 人		
(備考) (任意記載事項)								
・ 令和 7 年度までは時間制のため、 () 内に授業時間数を記入								

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時に HP で公開している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、單元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S90 点以上、A80 点以上、B70 点以上、C60 点以上、D59 点以下とし、C 以上が合格とする。また、出欠席については、科目毎に 80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22 人 (100%)	0 人 (0 %)	19 人 (86.4%)	3 人 (13.6%)
（主な就職、業界等） 【業界】 IT エンジニア、ゲーム開発 【就職先】 株式会社アスパーク、株式会社ヴァンガード、株式会社サンウェル、スマートエンジニア株式会社、株式会社アネステック、株式会社デジタルハーツ、株式会社マーブル、株式会社ワードシステム、株式会社ワールドインテック			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） CG クリエイター検定 ベーシック 合格者 22 名 C 言語プログラミング能力認定試験 合格者 18 名 （令和 7 年度卒業生に関する情報）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
85 人	3 人	3.5%
（中途退学の主な理由） 精神不調、学力不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ゲーム・VR クリエイター学科 VR クリエイターコース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数		開設している授業の種類				
	講義			演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	72 単位 (1,705 時間)		36 単位 (570 時間)	47 単位 (1,360 時間)	2 単位 (70 時間)	0 単位	0 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30 人		16 人	0 人	2 人	4 人	6 人		
(備考) (任意記載事項)								
・ 令和7年度までは時間制のため、 () 内に授業時間数を記入								

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時に HP で公開している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、单元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S90 点以上、A80 点以上、B70 点以上、C60 点以上、D59 点以下とし、C 以上が合格とする。また、出欠席については、科目毎に 80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 (100%)	0 人 (0 %)	3 人 (60%)	2 人 (40%)
（主な就職、業界等） 【業界】 IT エンジニア、ゲーム開発 【就職先】 株式会社エイジェック、株式会社エスユーエス、都ユニリース株式会社 （就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） CG エンジニア検定 ベーシック 合格者 4 名 C 言語プログラミング能力認定試験 3 級 合格者 4 名 （令和 7 年度卒業生に関する情報）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	2 人	11.1%
（中途退学の主な理由） 体調不良、家庭の事情		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程		CG デザイン学科 3DCG デザインコース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼間	103 単位 (2,757 時間)		16 単位 (402 時間)	90 単位 (2,464 時間)	0 単位 (80 時間)	0 単位		0 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
60 人		36 人	0 人	2 人		8 人		10 人	
(備考) (任意記載事項)									
・令和7年度までは時間制のため、() 内に授業時間数を記入									

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時に HP で公開している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、単元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S90 点以上、A80 点以上、B70 点以上、C60 点以上、D59 点以下とし、C 以上が合格とする。また、出欠席については、科目毎に 80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
一人 （ %）	一人 （ %）	一人 （ %）	一人 （ %）
（主な就職、業界等） 新設コースのため実績なし			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 卒業生がいないため実績なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23 人	1 人	4.3%
（中途退学の主な理由） 精神不調		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程		CG デザイン学科イラスト・デザインコース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数		開設している授業の種類					
	講義			演習	実習	実験	実技		
2 年	昼間	71 単位 (1,730 時間)		15 単位 (360 時間)	70 単位 (1,470 時間)	1 単位 (80 時間)	0 単位	0 単位	
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
40 人		51 人	0 人	2 人		10 人		12 人	
(備考) (任意記載事項)									
・令和7年度までは時間制のため、() 内に授業時間数を記入									

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時に HP で公開している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、単位ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S90 点以上、A80 点以上、B70 点以上、C60 点以上、D59 点以下とし、C 以上が合格とする。また、出欠席については、科目毎に 80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23 人 (100%)	0 人 (0 %)	19 人 (82.6%)	4 人 (17.4%)
（主な就職、業界等） 【業界】 デザイン職、販売・営業 【就職先】 株式会社 i プランニング KOHWA、株式会社アスパーク、株式会社アドボックス、株式会社イルカ、株式会社コーセイカン、研精堂印刷株式会社			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） Illustrator クリエイター能力認定試験 エキスパート 合格者 16 名 Illustrator クリエイター能力認定試験 スタンダード 合格者 19 名 Photoshop クリエイター能力認定試験 エキスパート 合格者 19 名 Photoshop クリエイター能力認定試験 スタンダード 合格者 20 名 色彩検定 1 級 合格者 1 名 色彩検定 2 級 合格者 9 名 色彩検定 3 級 合格者 15 名 （令和 7 年度卒業生に関する情報）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47 人	1 人	2.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ネット・動画クリエイター学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	71 単位 (1,781 時間)	17 単位 (337 時間)	74 単位 (1,724 時間)	1 単位 (70 時間)	0 単位	0 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		59 人	0 人	2 人	7 人	9 人	
(備考) (任意記載事項)							
・令和7年度までは時間制のため、() 内に授業時間数を記入							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時に HP で公開している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、単元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S90 点以上、A80 点以上、B70 点以上、C60 点以上、D59 点以下とし、C 以上が合格とする。また、出欠席については、科目毎に 80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33 人 (100%)	0 人 (0 %)	28 人 (84.8%)	5 人 (15.2%)
（主な就職、業界等） 【業界】 Web クリエイター、印刷関係、映像制作・動画制作、総合職 【就職先】 友野印刷株式会社、株式会社 アイジュエリー・ウマキ、株式会社 CODE 54、株式会社 TheNewGate、株式会社 エフイーティーブイ、株式会社 シリアス・プロ・サポート、株式会社 ミチオショップ			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） Illustrator クリエイター能力認定試験 エキスパート 合格者 24 名 Illustrator クリエイター能力認定試験 スタンダード 合格者 31 名 Photoshop クリエイター能力認定試験 エキスパート 合格者 28 名 Photoshop クリエイター能力認定試験 スタンダード 合格者 23 名 色彩検定 2 級 合格者 2 名 色彩検定 3 級 合格者 27 名 Web デザイナー検定 ベーシック 合格者 17 名 （令和 7 年度卒業生に関する情報）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人	1 人	1.5%
（中途退学の主な理由） 精神不調		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程		デジタルビジネス学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	65 単位 (1,716 時間)		29 単位 (490 時間)	35 単位 (1,376 時間)	2 単位 (70 時間)	0 単位	0 単位	
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
60 人		41 人	0 人	2 人		4 人		6 人	
(備考) (任意記載事項)									
・令和7年度までは時間制のため、() 内に授業時間数を記入									

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時に HP で公開している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、単元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S90 点以上、A80 点以上、B70 点以上、C60 点以上、D59 点以下とし、C 以上が合格とする。また、出欠席については、科目毎に 80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22 人 (100%)	0 人 (0 %)	21 人 (95. 5%)	1 人 (4. 5%)
（主な就職、業界等） 【業界】 事務職、営業職、総合職 【就職先】 株式会社ミツワ、株式会社 CONSCIENCE、株式会社アスパーク、株式会社ジップ、株式会社ホンダカーズ津山、株式会社ヤマザキ物流、株式会社岡山丸果、株式会社鎌倉パスタ、株式会社山陽メディアネット、株式会社北原産業、株式会社吉川組、吉備信用金庫、山崎製パン株式会社、倉敷レーザー株式会社			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）Word 合格者 21 名 マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）Excel 合格者 22 名 マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）PowerPoint 合格者 22 名 マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）Access 合格者 22 名 IT パスポート試験 合格者 4 名 ビジネス統計スペシャリスト 合格者 15 名 日本商工会議所 簿記検定試験 3 級 合格者 14 名 （令和 7 年度卒業生に関する情報）			

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門 課程	ホテル・ブライダ ル・観光学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	65 単位 (1,705 時間)	39 単位 (750 時 間)	36 単位 (1,010 時間)	8 単位 (260 時 間)	0 単位	0 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		72 人	0 人	3 人	6 人	9 人	
(備考) (任意記載事項)							
・令和7年度までは時間制のため、() 内に授業時間数を記入							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、単元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S90 点以上、A80 点以上、B70 点以上、C60 点以上、D59 点以下とし、C 以上が合格とする。また、出欠席については、科目毎に 80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28 人 (100%)	1 人 (3.6%)	27 人 (96.4%)	0 人 (%)
（主な就職、業界等） 【業界】 ウェディングプランナー、ブライダル関係、ホテル・旅館、ジュエリー・販売 【就職先】 アルバスタッフ有限会社、ホテルモントレ株式会社、株式会社 NEW ART、株式会社ヴァンドームヤマダ、株式会社ジェイアール西日本ホテル開発ホテルグランヴィア岡山、株式会社スタジオアリス、株式会社バンデヴィスタ SARA、株式会社ひらまつ、株式会社ホテルオークラ神戸、株式会社ロイヤルクラシック、株式会社花乃店千樹園（ブレスエットロゼ）、株式会社三松、株式会社倉敷国際ホテル、株式会社夢舞台（グランドニッコー淡路）、合同会社ユー・エス・ジェイ、有限会社コラソン ポンヌフ			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ブライダルコーディネーター技能試験（BIA） 合格者 26 名 WB 認定スリースターメンバー 合格者 28 名 ホテル実務技能認定試験 合格者 28 名 （令和 7 年度卒業生に関する情報）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
64 人	2 人	3.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門 課程	医療福祉事務学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	68 単位 (1,702 時間)	12 単位 (539 時 間)	57 単位 (1,456 時間)	8 単位 (240 時 間)	0 単位	0 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		43 人	0 人	2 人	6 人	8 人	
(備考) (任意記載事項)							
・令和7年度までは時間制のため、() 内に授業時間数を記入							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、单元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S90 点以上、A80 点以上、B70 点以上、C60 点以上、D59 点以下とし、C 以上が合格とする。また、出欠席については、科目毎に 80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
43 人 (100%)	0 人 (0 %)	40 人 (93.0%)	3 人 (7.0%)
（主な就職、業界等） 【業界】 医療事務・事務総合職、歯科助手・受付、調剤事務 【就職先】 一般社団法人 i shikoku holdings、医療法人 永成会 田中耳鼻咽喉科、医療法人誠心会 佐藤整形外科、株式会社ソラスト、株式会社ニチイ学館 岡山支店、はれのひデンタルクリニック、医療法人 春風会 ばば耳鼻咽喉科、医療法人 真生会 新見中央病院、医療法人 誠和会 倉敷第一病院、医療法人 薬師寺慈恵会 薬師寺慈恵病院、医療法人 祥樹会 赤磐皮膚科形成外科、医療法人思誠会 渡辺病院、医療法人社団 仁優会 武岡皮膚科クリニック、医療法人社団 清和会 笠岡第一病院、医療法人忠和会 ひらた歯科クリニック、医療法人南輝 みやはら耳鼻咽喉科、一般財団法人 淳風会 淳風会健康管理センター、一般財団法人 赤堀クリニック、一般財団法人 倉敷成人病センター、一般財団法人 操志会 高島西眼科、一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院、岡山医療生活協同組合、株式会社 GROWTHRING くすの樹接骨院、株式会社アインホールディングス、株式会社エム・エス経営企画、株式会社ケイ・クリエイト、株式会社ビー・エム・エル、公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院、佐藤皮膚科、社会医療法人 岡村一心堂病院、社会医療法人 光生病院、社会医療法人 水和会 水島中央病院、社会医療法人 水和会 倉敷リハビリテーション病院、社会医療法人 盛全会 岡山西大寺病院、社会医療法人社団 十全会 心臓病センター榊原病院、有限会社足高メディカル・センター、有限会社肥後薬局			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医療事務技能審査試験（メディカルクラーク） 合格者 43 名 医師事務作業補助技能認定試験（ドクターズクラーク） 合格者 39 名 医事オペレータ技能認定試験 合格者 40 名 調剤事務管理士技能認定試験 合格者 38 名 実務技能検定協会秘書技能検定 2 級 合格者 1 名、3 級 合格者 35 名 （令和 7 年度卒業生に関する情報）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人	4 人	6.1%
（中途退学の主な理由） 体調不良、学力不振、経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門 課程	医療情報マネジメン ト学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	105 単位 (2,515 時間)	38 単位 (660 時 間)	83 単位 (1,980 時間)	2 単位 (70 時 間)	0 単位	0 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		29 人	0 人	2 人	6 人	8 人	
(備考) (任意記載事項)							
・令和7年度までは時間制のため、() 内に授業時間数を記入							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、单元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S90 点以上、A80 点以上、B70 点以上、C60 点以上、D59 点以下とし、C 以上が合格とする。また、出欠席については、科目毎に 80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 (100%)	0 人 (0 %)	12 人 (92.3%)	1 人 (7.7%)
（主な就職、業界等） 【業界】 診療情報管理士、医療事務・事務総合職、歯科助手・受付、調剤事務 【就職先】 社会医療法人 高見徳風会 希望ヶ丘ホスピタル、医療法人 賀新会 プライムホスピタル玉島、医療法人 水清会 水島第一病院、公益財団法人 操風会 岡山旭東病院、公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院、社会医療法人 水和会 倉敷リハビリテーション病院、社会医療法人 全仁会 倉敷平成病院、地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター岡山市立市民病院、独立行政法人国立病院機構呉医療センター			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療情報管理士認定試験 合格者 11 名 がん登録実務初級者認定試験 合格者 13 名 MOS Excel 2019 エキスパート（上級） 合格者 12 名 医療事務技能審査試験（メディカルクラーク） 合格者 13 名 医師事務作業補助技能認定試験（ドクターズクラーク） 合格者 13 名 （令和 7 年度卒業生に関する情報）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32 人	3 人	9.4%
（中途退学の主な理由） 人間関係、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	経営アシスト学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	72 単位 (1,730 時間)	37 単位 (934 時間)	40 単位 (902 時間)	2 単位 (80 時間)	0 単位	0 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		46 人	1 人	3 人	6 人	9 人	
(備考) (任意記載事項)							
・令和7年度までは時間制のため、() 内に授業時間数を記入							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時に HP で公開している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、单元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S90 点以上、A80 点以上、B70 点以上、C60 点以上、D59 点以下とし、C 以上が合格とする。また、出欠席については、科目毎に 80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36 人 (100%)	1 人 (2.8%)	34 人 (94.4%)	1 人 (2.8%)
（主な就職、業界等） 【業界】 税理・会計事務補助、経理職、総合職・事務職、営業職・販売職 【就職先】 アプライド株式会社、おかやま信用金庫、株式会社外林、ネッツトヨタ山陽株式会社、株式会社アステア、株式会社サンホーム岡山、株式会社トスコ、株式会社トヨタレンタリース岡山、株式会社丸和運輸機関、株式会社金辺商会、黒杭良雄税務会計事務所、三宅税理士法人、新青山株式会社、水島信用金庫、晴れの国岡山農業協同組合、青税理士法人、税理士法人 福原会計事務所、税理士法人シナジー、同前賢税理士事務所			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日本商工会議所・簿記検定試験 2 級 合格者 9 名 日本商工会議所・簿記検定試験 3 級 合格者 35 名 ファイナンシャル・プランニング（FP）技能検定 3 級 合格者 16 名 所得税法能力検定 合格者 22 名 （令和 7 年度卒業生に関する情報）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
68 人	1 人	1.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	公務員総合学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	70 単位 (1,710 時間)	41 単位 (745 時間)	43 単位 (1,120 時間)	1 単位 (40 時間)	0 単位	0 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		34 人	0 人	2 人	2 人	4 人	
(備考) (任意記載事項)							
・令和7年度までは時間制のため、() 内に授業時間数を記入							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、单元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S90 点以上、A80 点以上、B70 点以上、C60 点以上、D59 点以下とし、C 以上が合格とする。また、出欠席については、科目毎に 80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 (100%)	0 人 (%)	13 人 (100%)	0 人 (%)
（主な就職、業界等） 【業界】 事務系公務員、公安系公務員、技術系公務員、一般事業所 【就職先】 岡山県庁、岡山地方検察庁、岡山地方法務局、岡山労働局、吉備中央町役場、倉敷市役所、瀬戸内市役所、新見市役所、広島国税局、海上保安庁 海上保安学校、社会福祉法人 P.P.P、新庄村役場			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） Excel 表計算処理技能認定試験 3 級 合格者 13 名 Word 文書処理技能認定試験 3 級 合格者 10 名 コミュニケーション検定 初級 合格者 10 名 ニュース時事能力検定 合格者 10 名 日本漢字能力検定 3 級 合格者 8 名 （令和 7 年度卒業生に関する情報）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36 人	2 人	5.6%
（中途退学の主な理由） 公務員試験合格、体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	保育学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	136 単位 (2,605 時間)	40 単位 (1,100 時間)	29 単位 (985 時間)	0 単位 (850 時間)	0 単位	0 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		17 人	0 人	1 人	9 人	10 人	
(備考) (任意記載事項)							
・令和7年度までは時間制のため、() 内に授業時間数を記入							
・保育学科は令和8年度より募集停止。在学生がいるため、従前の教育課程に基づき記載							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時に HP で公開している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、単元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S90 点以上、A80 点以上、B70 点以上、C60 点以上、D59 点以下とし、C 以上が合格とする。また、出欠席については、科目毎に 80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 (100%)	0 人 (%)	4 人 (100%)	0 人 (%)
（主な就職、業界等） 【業界】 保育所・幼稚園、認定こども園、福祉施設 【就職先】 学校法人みその学園 岡山聖園マリア幼稚園、社会福祉法人 ももぞの学園、社会福祉法人みその児童福祉会 児童養護施設 岡山聖園子供の家			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） EXCEL 表計算処理技能認定試験 3 級 合格者 3 名 社会人常識マナー検定 3 級 合格者 4 名 幼児体育指導者検定 2 級 合格者 2 名 保育士資格 合格者 4 名 幼稚園教諭 2 種免許状 合格者 3 名 社会福祉主事任用資格 合格者 4 名 （令和 7 年度卒業生に関する情報）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	1 人	4.5%
（中途退学の主な理由） 精神不調		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	施設設備費	備考（任意記載 事項）		
情報スペシャリスト学科	160,000 円	630,000 円	190,000 円			
情報システム学科						
ゲーム・VR クリエイター学 科ゲームクリエイターコー ス						
ゲーム・VR クリエイター学 科 VR クリエイターコース						
CG デザイン学科 3DCG デザ インコース						
CG デザイン学科イラスト・ デザインコース						
ネット・動画クリエイター 学科						
デジタルビジネス学科						
ホテル・ブライダル・観光 学科				610,000 円	160,000 円	
医療福祉事務学科						
医療情報マネジメント学科						
経営アシスト学科						
公務員総合学科						
保育学科						
—						
修学支援（任意記載事項）						
後期授業料免除制度 等						

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://oic-ok.ac.jp/wp-content/themes/oic-theme/pdf/jikotenken.pdf
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 企業・業界団体等と密接かつ組織的な連携体制を確保し、学校運営に係る意見・提案等を行う学校関係者評価委員会（以下「委員会」という）を岡山情報ビジネス学院内に設置している。なお、評価委員の構成において定数は 12 名（外部委員のみ）、委員は本校と授業連携をしている企業や業界関連企業、本校の卒業生や PTA の方々で構成されている。年間で 1 回以上の会議を開催し、学校運営に関する事項（自己点検自己評価、学生数状況、就職状況、離職状況等）について意見をいただいている。本校の自己点検自己評価を記入していただき、その評価結果をもとに教育活動、学校運営の改善に活用している。
学校関係者評価委員会の委員

所属	任期	種別
スマートスケープ株式会社 デジタルエンジニアリング 事業部（DE 事業部）部長	2025/4/1 ～ 2027/3/31	卒業生
株式会社コーセーカン	2025/4/1 ～ 2027/3/31	保護者
医療法人 和香会 倉敷スイートホスピタル 事務局長	2025/4/1 ～ 2027/3/31	企業等委員 （医療）
税理士法人 創明コンサルティング・ブレイン 代表社員	2025/4/1 ～ 2027/3/31	企業等委員 （会計）
バイオシステム株式会社 岡山国際ホテル 総支配人	2025/4/1 ～ 2027/3/31	企業等委員 （ホテル）
社会福祉法人岡北福祉会 岡北学園 理事長	2026/4/1 ～ 2028/3/31	企業等委員 （保育）
菅公学生服株式会社 取締役	2025/4/1 ～ 2027/3/31	企業等委員 （ビジネス）
株式会社 FIL DESIGN 代表取締役	2025/4/1 ～ 2027/3/31	企業等委員 （デザイン）
NAYUG 合同会社 代表社員	2025/4/1 ～ 2027/3/31	企業等委員 （ゲーム）
株式会社トスコ 代表取締役社長	2026/4/1 ～ 2028/3/31	企業等委員 （ I T ）
自衛隊岡山地方協力本部 総務課長	2026/4/1 ～ 2028/3/31	企業等委員 （公務員）
コーセーエンジニアリング株式会社 総務部長	2025/4/1 ～ 2027/3/31	企業等委員 （留学生）
奉還町商店街振興組合 事業推進部長	2026/4/1 ～ 2028/3/31	地域住民
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://oic-ok.ac.jp/wp-content/themes/oic-theme/pdf/gakkoukannkeisha.pdf		
（備考）		

第三者評価については平成 31 年に実施して以来、未実施である。
令和 9 年度に第三者評価を実施予定。

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<https://oic-ok.ac.jp/>